

2025年11月11日に長年リハビリテーション科の助手として勤務いただいた木崎さんの送別会を行いました。

木崎さんは、私が当院に入職して間もない頃に入職いただき、以来長きにわたり患者様への対応やセラピストのサポートを誠心誠意行ってくださいました。日々の業務においては常に患者様に寄り添い、細やかな気配りと温かい言葉で安心感を与えてくださる姿が印象的でした。特に、木崎さんの素晴らしい点は、患者様の心に寄り添う姿勢です。ご自身がコーラスグループの代表を務めておられることもあり、時には入院中の患者様に歌を届けてくださいました。その歌声は患者様の心を和ませ、リハビリテーションに取り組む勇気や前向きな気持ちを引き出す力となりました。単なる業務の枠を超えて、患者様のメンタルサポートに尽力されたことは、当院にとってかけがえのない財産です。

送別会では、多くのスタッフが木崎さんへの感謝の気持ちを伝えました。患者様やスタッフから寄せられた「いつも優しく声をかけてくれた」「木崎さんがいると安心できた」といった言葉は、木崎さんの人柄と温かさを物語っています。リハビリテーション科にとって木崎さんの存在は大きく、いなくなることは寂しいのですが、次のステージへと進まれる姿を心から応援したいと思います。

木崎さん、これまで本当にありがとうございました。そして長年のご尽力に心より敬意を表します。木崎さんが大切にされてきた「患者様に寄り添う姿勢」は、残されたスタッフで継承し、今後のリハビリテーションに活かしてまいります。お疲れ様でした。

(文責 藤原 聰)

#### 【送別会風景】

